

授業の流れ

- 1時：論語の概略・教科書掲載章句の学習（教室）
- 2時：作業の説明・論語の難易度別の書籍を9班分用意していただき、自分に響く論語の章句を探す。（図書館）
- 3時：2時の続き。（図書館）
- 4時：教員が用意したはがきサイズのカードを用意して
表に章句＋章段
裏に意味や訳文＋まとめの一言を書く。カードを好きに装飾する。
用意するもの：カード・水性カラーペン・筆ペン・黒フェルトペン（教員）
色鉛筆・マーカー・黒ペン（生徒）
- 5時：今回の授業の中で目を通した論語関連書籍に対して「中学生が論語の章句を調べる」作業をするのに適していると思うものに投票する。
用意するもの：丸いカラーシール（教員）

論語の「この言葉が好き」という発見があっても、どこに自分の好きな言葉あがるのかわからない、その言葉がどういう経緯で誰に対して述べられた誰の言葉なのかわからない、と論語を学んだことにはならないのではないかと思われ、子どもたちには章句と共にそれがどの章段にある言葉であるかを必ず記載することを条件づけた。

子どもたちは教科書の他に副教材として角川のビギナーズクラシック「論語」を全員が持っており、これは子どもにとってとても分かりやすく章句の解説がされているが、索引がないことによって、それが論語のどこに掲載されている語であるのかわからなかった。そのため1冊では完結せず、索引を使って章段を調べる作業が発生した。

授業者 東京学芸大学附属世田谷中学校
阿部 由美

